



山田方谷先生は、中井町で生まれ、江戸時代末の備中松山藩の財政を立て直すなど、大きな業績を残された政治家であり教育者です。中井町には方谷先生ゆかりの地がたくさんあり、町民みんなで大切にしています。多くの人に方谷先生や中井町、高梁市のすばらしさを知ってもらえるように、方谷先生のドラマ化を実現させてほしいと願っています。

地域の誇りである山田方谷先生を慕っている気持ち伝わってきました。方谷園の清掃など、これからもずっと続けていってほしいと思います。

今の日本の経済は良くない状態が長く続いていて、皆さんの生活にも影響がでています。こうした今だからこそ方谷先生に学び、だれもが笑顔で暮らせる町にしていかなければなりません。

ドラマ化は、方谷先生の偉大さを全国の人に知ってもらおう、とて

鈴木夏果 議員
清水奈月 議員

中井小



山田方谷先生は、中井町で生まれ、江戸時代末の備中松山藩の財政を立て直すなど、大きな業績を残された政治家であり教育者です。中井町には方谷先生ゆかりの地がたくさんあり、町民みんなで大切にしています。多くの人に方谷先生や中井町、高梁市のすばらしさを知ってもらえるように、方谷先生のドラマ化を実現させてほしいと願っています。

市長

地域の誇りである山田方谷先生を慕っている気持ち伝わってきました。方谷園の清掃など、これからもずっと続けていってほしいと思います。

今の日本の経済は良くない状態が長く続いていて、皆さんの生活にも影響がでています。こうした今だからこそ方谷先生に学び、だれもが笑顔で暮らせる町にしていかなければなりません。

ドラマ化は、方谷先生の偉大さを全国の人に知ってもらおう、とて

小学校で復興支援のための取り組みをしていることをうれしく思います。

昭和57年度以降に建てられた建物は、耐震設計で建てられており、耐震化の工事は必要ありません。昭和56年度以前に建てられた建物は、耐震診断調査をして、耐震性があるかどうか調べます。

建物の耐震性能を表す指標をIs値といいます。一般の建物は、Is値が0.6以上あれば耐震性があり安全とされています。学校施設は、子どもたちが生活する場所であり、災害時には地域の避難場所にもなるので、Is値が0.7以上になるように決められています。Is値が0.7以下の建物は、耐震補強の工事を行います。

落合小学校の校舎は、昭和58年3月～平成16年2月の間で建てられています。体育館は、昭和62年1月に建てられています。いづれも昭和57年度以降に建てられているので、耐震補強工事をする必要はありません。

次に市内小・中学校施設の状況です。小学校は、校舎や体育館が51棟あります。耐震補強工事をしなければならぬ建物は14棟ありました。中学校は、校舎や体育館が24棟あり、

もいい方法だと思っています。NHKの大河ドラマの主人公に山田方谷先生を取り上げてもらいたいという署名活動が始まりました。方谷先生の功績を皆さんに広めようとする運動が全国に広がっています。市もドラマ化の実現を目指して頑張っていますので、皆さんもぜひ応援してください。

ドラマ化だけでなく、方谷先生ゆかりの地の宣伝をしたり、功績を知ってもらう資料をつくったり、イベントなどを行ったりして、全国の人にもっと山田方谷先生を知ってもらおうと思っています。

◆再質問

今年6月の大雨で、方谷園の池につながっている水路が崩れて、池に水が流れなくなりました。水路を直してもらって、訪れた人に池で元気に泳いでいるコイを見てもらいたいと思います。

◆方谷園は、高梁市の公園です。元の池になるようにしなければならぬと思っています。

丸橋 捺希 議員
森野 叶子 議員

玉川小



工事をしなければならぬ建物は6棟ありました。現在、工事の必要な建物は、小学校で2棟、中学校で5棟残っていますので、これからも計画的に耐震補強工事をして、平成27年度までに全部工事を終了するように計画をしています。

山縣 直人 議員
小寺 知貴 議員

有漢西小



高梁市のリーダーである市長さんが、どのような思いを持って、どのような仕事をしているのか教えてください。将来、僕たちが仕事を選ぶための参考にしたいと思っています。

市長

皆さんが何をしてほしいのか、何をすればみんなが幸せになれるのか、皆さんからの意見や希望を聞き、どうすればいいのかを考えて、これをやりましょうと決めます。その先頭に立つのが市長の仕事です。

高梁市は、生まれる子どもが減り、お年寄りの割合が増え、市外に移り住む人が増え、どんどん人

中学校へ通学するために通る玉川橋や国道は自転車道がなく危険です。新しい玉川橋ができると交通量が増え、さらに危険になるのではないかと心配です。すぐに自転車道ができないのであれば、安全に通れる取り組みが必要ではないでしょうか。

市長

通学に不安を持っていることは、申し訳ないと思います。

玉川地区から高梁中学校への通路の整備は、毎年PTAや地域から強く要望されています。市も管理している岡山県に対して強く早期の整備をお願いしています。平成23年度までに玉川橋から河内谷地区までの間は、安全な自転車道・歩道が整備されました。その先の落合橋までの間は、これから工事となるため、全部の区間が完成するには、もう少し時間がかかる予定です。

新しい玉川橋については、平成26年度に完成する予定です。自転車道と歩道も整備されますので、安心して通行することができます。

これからも一日でも早く安全な自転車道・歩道が全線に整備されるよう、岡山県に対してしっかりとお願いをしていきます。

安全に通れるような取り組みとして、高梁警察署にお願いして、通学時間帯にパトカーなどで、監視をお願いしています。自動車に対して、

が減っていく、寂しい状況でした。私は、「このままだとみんなが安心して生活していくことができない」という強い思いで、市長になろうと決断しました。

どうすれば高梁市のみんなが幸せになれるのだろうか、安心して暮らしていけるだろうかと考えながら仕事をしています。皆さんが夢をもち感動し、みんなが笑顔で暮らせるまちにしていこうと考えています。皆さんもぜひこの生まれ育った高梁市を好きになってください。将来、高梁市のために何かできることがないか考えてみてください。

◆再質問

取り組みの中で一番力を入れていることは何ですか。

◆定住です。家を建てたり、直したりすることに支援をしています。皆さんが安心して学校に通え、勉強ができるようにして、高梁に住んでもらえるようにしていきます。

河合 和哉 議員
小林 一 議員

川上小



通学路であることを示し、スピードを落とすという啓発看板などの設置も考えています。

未整備区間の整備が完成するまでの間は、車道部分を通して通学することになるので、十分注意してもらうと共に、正しい自転車の乗り方を守って、安全な通行をお願いします。

黒川 聖仁 議員
都田 拓海 議員

落合小



昨年の3月に起きた東日本大震災によって、大きな被害がもたらされました。落合小学校では、アルミ缶集めの収益金を義援金として送っています。

学校は災害時に避難場所になります。落合小学校は、耐震化されているのでしょうか。

耐震化工事が終わっている学校や予定されている学校についても教えてください。

教育長

東日本大震災の被害の様子を見て、

川上町には「大賀デッケン」や「沢柳の滝」など、多くの観光地や文化財があります。これらを多くの人に見てもらうために、道案内や説明の看板を取り付けたいと思います。また、絵ぶた館を地域で見つかった化石や名勝を紹介する記念館にしてはどうでしょうか。

市長

地域の歴史や自然などについて、しっかりと勉強をされていて感心しています。地域のことを思っていて、いろいろなことをうれしく思います。こういった資源を地域の皆さんが誇りに思いしっかりと守ってほしいと思います。

川上町には、いろいろな文化財や観光地があり、案内看板などの設置を考えています。看板だけでなく、インターネットなどを利用してPRすることも大事です。

マンガ絵ぶた館の中へ記念館を設けることについては、どのようにしたら一番良いのか、地域の皆さんでよく話し合っていてほしいと思います。

たくさんの人に来てもらうことが、地域の活力になります。川上町にいいものがあるということをしつかりとPRして、来ていただいたら、おもてなしの心でお迎えできる体制づくりと一緒に考えていきたいと思っています。